

5.20

■司会 植田 浩三〈高知県〉 大野見村教育委員会 社会教育主事
溝部ひとみ〈広島県〉 広島県立安古市高等学校総括指導員

1. 校区内青少年育成の実践と評価

14:15~14:40

ー校区組織の結成と運動の展開ー

岩下 純宏〈鹿児島県〉 国分小校区青少年健全育成連絡会 代表

校区の青少年は校区で責任を持って育成する気風をつくろうと、平成11年6月からPTA、自治公民館長、町内会長、スポーツ少年団育成者、子ども会育成者等が協力して実践活動を進めてきた。小学生を中心に挨拶運動を行い、公民館とタイアップした鯉のぼり大会、相撲大会、しめ縄作り、餅つき、清掃ボランティアなどへの参加呼びかけによって、校区民が小・中・高校生まで目を向け健全育成に取り組む気運が高まってきた。

2. 感動の共有

14:40~15:05

ーボランティア・行政・中学生とで朗読公演に取り組むー

竹中 圭子〈福岡県〉 虹の会 会長

昭和54年、“我が子に本とのいい出会いを”という母親の願いから朗読ボランティアを発足、現在会員40名の「虹の会」として活動中である。朗読を通して愛・平和・祈り等を伝え、心をつなぐ朗読発信のまちづくりをしようと、行政・中学校と一体になって公演活動を行っている。平成11年には、500人収容の町民ホールで昼夜3回の公演を実施、1500人と感動を共有することができた。活動の意図するもの、内容、方法、今後の課題を発表する。

～ ティータイム ～

15:05~15:40

3. 行動する子ども会の試練と学習

15:40~16:05

ー参加することから得ることー

比嘉 清美〈沖縄県〉 西原町立西原南小学校 PTA 会長

平成3年、単位子ども会を発足、同時にPTA活動にも参加し現在に至る。子ども会にしてもPTAにしても人が集まらなければ事が進められない。子ども・親・地域の人たちに、活動の様子や大切さ、参加することの意義をわかってもらうために、まつりなどの行事を開催した。その結果、少しずつではあるが参加することで何か得られるという意識が醸成されてきた。その経緯と課題について発表する。

4. ふるさと総合学習「ちゃぐりんスクール」

16:05~16:30

ー農業体験プログラムへの農協参加ー

伊東 雪子〈佐賀県〉 南波多農業協同組合 生活指導員（企画・運営担当）

農協・女性部が中心になって、地区の小学生を対象に平成8年度から「農協子ども教室」をスタートした。目的は、子どもの時から農業に親しんでもらうことによって、将来の農業の担い手を育成することにある。毎月第4土曜日の午前中にJAの施設を使って、年間10回程度活動している。みそ作り体験等、学校では学ばないことを学習に取り入れているが、年々参加者が増えている。平成11年度は38名が体験学習に参加した。

5. 総括討論

16:30~17:00